

JR連合への総結集と
労使の信頼関係構築へ全力をあげ
職場からの安全確立
政策課題の解決・前進を図ろう!

http://www.jr-rengo.jp



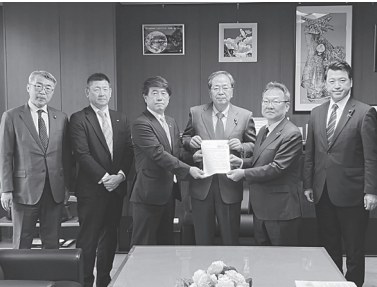
JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10
東興ビル9階
TEL (NTT) 03-3270-4590
FAX (NTT) 03-3270-4429
1部20円(但し組合費に含む)
●発行所 荻山市朗 ●編集者 宮野勇馬

facebook
JR連合

(旧twitter)
JR連合



3月14日、斉藤国土交通大臣に電力総連とともに要請

電力総連とともに行ってきた。この間多くの意見が出されていた。多重下請構造の中、同じインフラ企業として、電力会社が発注者、グループ会社が元請、協力会社が下請となつて保守工事を行うという構造が

建設業「2024年問題」
建設業の魅力向上をめざし
電力総連との共同行動を実施

JR連合は電力総連とともに、国民民主党と立憲民主党、国土交通大臣に対して「建設業における時間外労働の上限規制(2024年問題)に関する要請」を行った。政策実現に向けては、これまで航空連合・サービス連合との3産別共同行動等を行ってきたが、この度は電力総連との連携という新たな取り組みを進めた。

2024年4月からは、「働き方改革」により建設業従事者の労働時間に対する上限規制により、建設業界はもともと、JR産業においても施設・電気系統の保守工事が一定の影響を受けることが想定される。こうした状況を受けて国土交通省では、「中央建設業審議会」が開かれ、法改正も視野に労働時間規制に合わせた適切な契約の推進等により、

持続可能な建設業界を構築すべく議論が行われてきた。一方、JR連は、JRグループ労働組合の協力の下、関係単組を招集し、本問題に係るヒアリングを行い、実態把握を進めてきた。併せて、この間多くの意見が出されていた。多重下請構造の中、同じインフラ企業として、電力会社が発注者、グループ会社が元請、協力会社が下請となつて保守工事を行うという構造が

- 建設業「2024年問題」に関する要請項目
- ①適性契約(工期・金額)の推進
⇒適正工期・金額での契約推進に係る実効性担保
 - ②必要な価格転嫁の推進
⇒発注者側の負担増を価格に転嫁できる仕組みの構築
 - ③社会全体への理解促進、行政監視等の徹底
⇒本問題に係る社会の理解促進・行政の積極的関与

国土交通大臣・政党へ
適正契約・必要な価格転嫁の推進を

要請は3月12日に国民民主党(玉木雄一郎代表)、14日に斉藤国土交通大臣、21日に立憲民主党(大島敦企業・団体交流委員長他)に対して行った。電力総連は壬生守也会長と大森勇会長代理、JR連合は荻山市朗会長と政所大祐

事務局長らが出席し、それぞれの個別事情も含めて要請を行った。具体的には、電力総連は、電気工事は前工程の遅れによるしわ寄せを受け後工程がひつ迫することが多いという事情から、国交省が定めた「工期に関する基準」の見直しを求めた。JR連合は、適切な労務費の確保に向けて、国が勧告する「標準労務費」契約上のリスクに、鉄道業関係の要素を組みこむこと等を求めた。また、価格転嫁をしにくい運賃制度の課題についても説明した。

貨物鉄産労に
新たな仲間が
連続して加入

- 3月6日付 九州地区本部 契約社員
- 3月12日付 九州地区本部 九州保全技術センター

ようこそJR連合へ!
「JR連合ビジョン」を掲げ
魅力ある運動を展開する
JR連合・貨物鉄産労への
総結集をめざそう!

要請に対し、玉木代表は「インフラを支える両産別から、共通して要請を頂いたのは非常に重要だ」と、頂いた声に関係委員会で伝えていく、斉藤大臣は「要請に込められた期待を持って、若し人が希望を持って参加してもらえれば、業界になるよう、全力を挙げる所存だ」、大島委員長は「国交部門での具体的な対応も含めてしっかりと取り組んでい

JR7単組の2024春季生活闘争要求・妥結状況

2024年3月16日時点

単組名	要求日	2024年		昨年実績					
		要求	妥結	要求	妥結				
JR北労組	2月13日	・基準内賃金10,000円引き上げ ・ベア1,500円	・定期昇給の実施(昇給係数4) (所定昇給率4号棟) ・ベア1,500円	別途要求	—	3月15日	—	・ベア1,000円 ・定期昇給の実施(所定昇給率4号棟)	夏1.71ヶ月
JREユニオン	2月13日	・定期昇給の実施(昇給係数4) ・基準内賃金13,000円引き上げ	・定期昇給の実施(昇給係数4) ・ベア平均10,598円(所定昇給率4号棟) (エルダースタッフは6,000円) (テンポラリースタッフは70円/h)	夏3.0ヶ月	夏2.7ヶ月	3月8日	3月8日	・基本給に所定昇給率の1/4+4,000円を加算 ・定期昇給の実施(昇給係数4)	夏2.5ヶ月 +5万円
JR東海ユニオン	2月9日	・標準乗数「4」として定期昇給の年度初完全実施 ・「総合生活改善の原資」として月例賃金総額の3%以上の改善うち純ベア10,000円 ・全ての地区における調整手当のA級水準までの引上げ、地域差を踏まえた、各種施策の改善	・定期昇給の実施 ・ベア平均8,625円(所定昇給率4号棟) ・ベア7,000円 ・調整手当見直し(日給地+5,000円)(平均4,100円)	夏3.0ヶ月	夏3.0ヶ月	3月12日	3月12日	・定期昇給の実施(標準乗数4) ・ベア1,000円	夏2.7ヶ月
JR西労組	2月6日	・基準内賃金に基づき基準昇給の実施 ・職務連行10,000円引き上げ	・基準昇給の実施 ・ベア平均8,625円(所定昇給率4号棟) ・ベア7,000円 ・職務連行10,000円引き上げ(初任給調整手当の基本給化)	年5.7ヶ月 (夏・年末とも2.85ヶ月)	年間5.2ヶ月 (夏・年末とも2.6ヶ月)	3月12日	3月12日	・基準昇給の実施 ・ベア3,000円	年4.2ヶ月
JR四国労組	2月13日	・基準内賃金10,000円引き上げ ・コロナ禍の克服とこの間の労苦に報いる「一時金」の要求	・定期昇給の実施 ・ベア3,000円 (パートナースタッフは1,600円) (サブパートナースタッフは10円/時) ・一時金15万円(契約社員は5万円)	別途要求	—	3月15日	—	・定期昇給の実施 ・ベア2,000円	夏1.59ヶ月
JR九州労組	2月8日	・基本賃金10,000円引き上げ	・定期昇給の実施 ・ベアは既提案のとおり実施(人事賃金制度改善により平均20,339円の引き上げ) ・一時金20万円	夏3.0ヶ月	夏2.5ヶ月 ※JRSSPからの転籍者を含む	3月15日	3月15日	・定期昇給の実施 ・ベア3,000円	夏2.15ヶ月
貨物鉄産労	2月13日	・昇給額1.2%の金額を10,000円引き上げ ・昇給及び手当の改善等で6,000円以上引上げ	・定期昇給の実施 ・ベア1,500円+基本給の0.1%(平均1,800円)	年間4.8ヶ月以上(夏2.3以上、年末2.5以上)	—	3月15日	—	・定期昇給の実施 ・ベア700円 ・ベア1,000円	夏1.62ヶ月

要請に対し、玉木代表は「インフラを支える両産別から、共通して要請を頂いたのは非常に重要だ」と、頂いた声に関係委員会で伝えていく、斉藤大臣は「要請に込められた期待を持って、若し人が希望を持って参加してもらえれば、業界になるよう、全力を挙げる所存だ」、大島委員長は「国交部門での具体的な対応も含めてしっかりと取り組んでい

重ね、電力・JRのそれぞれの個別事情を除き、概ね共通して要望できる項目を3点に絞り、要請を行うこととした。具体的には①適正契約の推進、②必要な価格転嫁の推進、③社会全体への理解促進、という項目にまとめ、これらにより建設関係業種の魅力を向上させ、人材確保に繋げることを求める形とした。

2024春季生活闘争における
JR7単組の妥結結果を踏まえてのコメント
2024年3月19日

JR連合の統一要求方針に基づき取り組みを展開してきたJR7単組は、会社と真摯な労使協力を積み上げてきた結果、3月8日から15日にかけて大きな成果を引き出した。

私たちは、コロナ禍の未曾有の危機を多くの関係者の連帯・支援と労使の努力により乗り越えてきた。人流の回復と観光需要の高まり等に伴いJR各種事業の業績は大きく回復に転じている。しかしコロナ禍による社会変容等の影響も色濃く、ご利用はコロナ禍前の水準までには戻り切っていない。また若年層や中堅層の離職は引き続き高止まりしており、人財不足が深刻化している。著しい物価上昇の中、2023春季生活闘争を経てもなお実質賃金は低下の一途を辿り、組合員の生活は厳しさを増し続けている。こうした中で迎えた2024春季生活闘争では、連合・構成組織が政府と財界を巻き込み、長く続いたデフレ経済・停滞社会から脱却するための正念場と位置付け、経済も賃金も物価も安定的に上昇する社会へのステージ転換をめざす方針を決定し、物価上昇を上回る持続的な賃上げ、価格転嫁の推進の必要性を訴え、社会機運を醸成してきた。

JR連合もその方向性と取り組みに強く共感し、共に歩みを進めてきた。第36回中央委員会で、スローガンとして「人財の確保・定着につながる賃上げと働き方の見直し、組合員の努力が生み出した付加価値の適正分配、ONE TEAMで生活改善を実現しよう」を掲げ、定期昇給の完全実施および「10,000円を目安とする純ベア要求」を含む「月例賃金総額16,000円以上の引き上げ」を求める統一要求を決定し、全96単組がONE TEAMで闘い抜く方針を創りあげた。JR連合各地方協議会は、職場の最前線で奮闘する組合員と家族の負託に応えるべく、集会や学習会を開催して丁寧な意思統一に努め、JR7単組は健全な労使関係を基礎とする労使協力を積み重ねてきた。

そして、3月8日にジェイアール・イーストユニオンが、12日にはJR東海ユニオンおよびJR西労組が回答を引き出し、定期昇給の完全実施に加え、過去最高水準のベースアップ・賃金改善を獲得した。続いて14日に貨物鉄産労が、15日にJR北労組およびJR四国労組が前年を上回るベースアップ・賃金改善等の回答を引き出した。JR九州労組は既に合意済みの人事賃金制度改正からの更なる上積みは図れなかったものの相当額の一時的な、JR四国労組も組合員の労苦に報いる初の一時金を引き出した。また、各単組において、初任給の引き上げや通勤・転勤制度の見直し、育児支援制度の拡大など、働き方の見直しや総合生活改善に資する成果も多く引き出した。これは各単組が人財への投資を強く訴えてきた成果であり、連合構成組織の一員・JRの責任者として一定の責務を果たしたものと認識する。

今次闘争でも、人財獲得競争が激化する中でJR東日本を含む複数の大手企業がヤマ場には先じて物価上昇を上回る回答を行ったが、この回答水準の判断の背景には、連合およびJR連合を含む構成組織の精力的な運動が基盤となり創られた社会情勢があったということは言うまでもない。JR7単組の成果を評価しつつ、「持続的な賃上げ」と、働きの価値に見合った水準として掲げる「目標賃金」への到達、および働き方の見直しによって産業の魅力を高め、優秀な人財を獲得・確保していく継続的な取り組みが今後も必要であるということを改めて労使で共有したい。

これから交渉が本格化するグループ会社においては、多くの加盟単組が堂々とベア要求を掲げ、労使協議に取り組んでいる。健全な労使関係に基づく真摯な協議により、物価上昇を上回る賃上げと、人財獲得・定着に資する諸労働条件の改善を早期に「紡ぎ出す」ことを要請する。JR連合はエリア連合とも連携を深めながらグループ単組を支援する取り組みを進め、併せて個別労使では対応できない課題解決に向けた取り組みを引き続き力強く展開していく。

2024春季生活闘争については、第36回中央委員会で掲げた「人財の確保・定着に繋がる賃上げと働き方の見直し、組合員の努力が生み出した付加価値の適正分配、ONE TEAMで生活改善を実現しよう」のスローガンに基づき取り組んでいる。

JR各単組は、「定期昇給の完全実施および1万円を目安とする純ベア統一要求を含む月例賃金総額1万6000円以上の引き上げ」を求めるJR連合の春闘方針に基づき、組合員の努力・生産性向上分の適正な成果分配を堂々と求め、鋭意交渉交渉を展開した。3月8日にJREユニオンが、12日

にはJR東海ユニオンおよびJR西労組が回答を引き出し、定期昇給の完全実施に加え、過去最高水準のベースアップ・賃金改善を獲得した。続いて14日に貨物鉄産労が、15日にJR北労組およびJR四国労組が前年を上回るベースアップ・賃金改善等の回答を引き出した。JR九州労組は既に合意済みの人事賃金制度改正からの更なる上積みは図れなかったものの相当額の一時的な、JR四国労組も組合員の労苦に報いる初の一時金を引き出した。また、各単組において、初任給の引き上げや通勤・転勤制度の見直し、育児支援制度の拡大など、働き方の見直しや総合生活改善に資する成果も多く引き出した。これは各単組が人財への投資を強く訴えてきた成果であり、連合構成組織の一員・JRの責任者として一定の責務を果たしたものと認識する。

今次闘争でも、人財獲得競争が激化する中でJR東日本を含む複数の大手企業がヤマ場には先じて物価上昇を上回る回答を行ったが、この回答水準の判断の背景には、連合およびJR連合を含む構成組織の精力的な運動が基盤となり創られた社会情勢があったということは言うまでもない。JR7単組の成果を評価しつつ、「持続的な賃上げ」と、働きの価値に見合った水準として掲げる「目標賃金」への到達、および働き方の見直しによって産業の魅力を高め、優秀な人財を獲得・確保していく継続的な取り組みが今後も必要であるということを改めて労使で共有したい。

これから交渉が本格化するグループ会社においては、多くの加盟単組が堂々とベア要求を掲げ、労使協議に取り組んでいる。健全な労使関係に基づく真摯な協議により、物価上昇を上回る賃上げと、人財獲得・定着に資する諸労働条件の改善を早期に「紡ぎ出す」ことを要請する。JR連合はエリア連合とも連携を深めながらグループ単組を支援する取り組みを進め、併せて個別労使では対応できない課題解決に向けた取り組みを引き続き力強く展開していく。

産業間格差の是正に向けて 2024春季生活闘争勝利3・4総決起集会

交通労働協・連合「交通・運輸」部門連絡会は、3月4日、東京都内で「社会を支えるキーワーカーにふさわしい賃金と労働条件を確立しよう」をスローガンに、2024春季生活闘争勝利3・4総決起集会を開催した。

冒頭、主催者を代表して挨拶に立った住野敏彦議長は、今次闘争を取り巻く環境や交通運輸・観光サービス産業の現状について「物価も安定的に上昇するスティージ転換を図らなければならない。連合はこの間、サブライチーン全体で生み出した付加価値の適正分配、そのカギとしての価格転嫁・価格交渉・環境整備を訴えてきた。未来に期待が持てるよう賃上げを中心とする人への投資の重要性を使用者側に訴えていく」と呼びかけ、力強い交渉の展開を要請した。



交通運輸・観光サービス産業の現状に触れ加盟組織の奮起を促す住野議長

住野議長は、今次闘争を取り巻く環境や交通運輸・観光サービス産業の現状について「物価も安定的に上昇するスティージ転換を図らなければならない。連合はこの間、サブライチーン全体で生み出した付加価値の適正分配、そのカギとしての価格転嫁・価格交渉・環境整備を訴えてきた。未来に期待が持てるよう賃上げを中心とする人への投資の重要性を使用者側に訴えていく」と呼びかけ、力強い交渉の展開を要請した。

続いて、交通労働協の慶島譲治事務局長（JR連合特別執行委員）より、①産業

交通労働協に結集する60万人の力を最大限発揮すべく、力強い運動を展開しよう」と述べた。

来賓として連合から芳野友子会長が出席し、「今次闘争では昨年を上回る結果が強く求められる。物価上昇により実質賃金が低下する状況下で、経済も賃金も物価も安定的に上昇するスティージ転換を図らなければならない。連合はこの間、サブライチーン全体で生み出した付加価値の適正分配、そのカギとしての価格転嫁・価格交渉・環境整備を訴えてきた。未来に期待が持てるよう賃上げを中心とする人への投資の重要性を使用者側に訴えていく」と呼びかけ、力強い交渉の展開を要請した。



今次闘争に向けた決意を述べた住吉労働政策局長

の基盤たる人材の確保と職防止、②拡大する産業間格差の是正、③物価高騰に対する実質賃金の確保、④賃上げの原資となる価格転嫁の推進、⑤産業内の格差是正、の5つの視点にもとづく交通労働協2024春季生活闘争方針や「2024年問題 物流クライシス」「ライドシェア新法導入阻止」をはじめとした当面する政策課題について提起があり、参加者全員で課題認識を共有するとともに今後

の取り組みに向けて意思統一を図った。

構成組織からの決意表明では、JR連合を代表して住吉一家労働政策局長より、コロナ禍による危機を組合員の献身的な努力により乗り越えてきたものの、物価高騰等により生活が苦しくなっている不条理や悔しさを吐露して会場の共感を求めた他、労使で知恵を出し原資を生み出すことの必要性や「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する



JR連合加盟単組から多くの仲間が集会に参集した

指針「周知の必要性など」に触れるとともに、「社会機運とは裏腹に、各単組の労使交渉は厳しいやり取りが続くも、交通運輸・

観光サービス産業に携わる自分たちが一致団結し、賃上げの動きを創りあげていこう」と力強く呼びかけ、最後に、集会宣言を確認

「3・8国際女性デー」 男女平等参画推進への 決意を新たに

JR連合は、「国際女性デー」である3月8日に合わせて第2回男女平等参画推進委員会を開催し、委員会メンバーで連合が主催する中央集会に参画をした。国

際女性デーに自組織の男女平等参画に係る現状を把握し、今後のより一層の取り組み推進に向け、その決意を相互に固め合った。

前段の委員会は、今回よ

JRグループ労組連絡会幹事会の3人が加わり、総勢20人での開催となった。ここでは、JR連合「第4次男女平等参画推進目標」について、各単組における目標達成状況を確認するとともに、定期大会の開催時期が近づいているこ



幸せの黄色い花「ミモザ」を囲む委員会メンバー

とも鑑み、本目標の周知や目標達成に向けた働きかけを改めて実施することなどを要請した。

また、本委員会においても働き方に係る政策課題の解決に取り組んでいくこと

を提起した。次回以降、他産別との交流等も通じて課題を整理し、連合の担当部署や行政、国会議員等との意見交換も検討することとした。

委員会終了後、同メンバーで連合主催「3・8国際女

性デー全国統一行動中央集会」に参加し、「あらゆる意思決定プロセスに女性の参画を企業と労働組合の意思決定への関与とジェンダー」と題する埼玉大学

講演を受け、労働組合連動へ女性が参画することの重要性について思いを新たに

JR連合は、引き続き、男女平等参画の推進に向けて全力で取り組む。

2月1日に高松で開催した第36回中央委員会の参加者により実施した「令和6年能登半島地震カンパ」で集約された6万7731円について、日本赤十字社が受け付けている「令和6年能登半島地震災害義援金」に全額を寄付した。

能登半島地震緊急カンパ 被災地復興を祈り 日本赤十字社を通して 被災地へ

3月7日、窓口となる日本赤十字社東京都支部振興部の松田茂雄顧問に対し、JR連合の荻山市朗会長から義援金への寄付について、

この間、JR連合としては、連合が実施する「令和6年能登半島地震」対

目録を手交した。本年1月1日に発生した令和6年能登半島地震においては、多くの組合員の実家や自宅が被害を受けるとともに、鉄道施設にも甚大な被害が発生した。特に、JR西日本エリアの七尾線での被害は大きく、組合員の懸命な復旧作業により、2月15日に全線が開通したところである。



能登半島地震」に対する

こくみん共済 NEWS

「たすけあいの輪をむすぶ」
こくみん共済 coop は、
次のステージへ

公式キャラクター
ヒットくん

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済〈全労済〉
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済協会の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

ヤマちゃん
なかのばやみ (NO 327)

「国民からはよくやられた」と言われて、納得した。絶対の嵐で、信頼回復支援コンソアプといっました。

「国民からはよくやられた」と言われて、納得した。絶対の嵐で、信頼回復支援コンソアプといっました。

「国民からはよくやられた」と言われて、納得した。絶対の嵐で、信頼回復支援コンソアプといっました。

「国民からはよくやられた」と言われて、納得した。絶対の嵐で、信頼回復支援コンソアプといっました。

ジェイアール 東海バス労働組合

ジェイアール東海バス労働組合（JR東海バスユニオン）は、JR東海バスで働く仲間構成している労働組合です。

ジェイアール東海バスでは、愛知県・静岡県で主に高速路線バス事業と貸切バス事業を運営し、多くのお客さまにご利用頂いています。名古屋・静岡と首都圏を結ぶ東名ハイウェイバスとドリーム号では1日合計35往復。主に名古屋地区から関西方面の神沖ハイウェイバス等は33往復を運行しています。また、静岡地区から浜宮・新宿への直行便も17往復、その他にも名古屋から高山・北陸方面の昼行便や、四国・広島方面の夜行便を毎日運行しています。ネット決済や早期決済割引等の施策も展開し、楽天トラベルなどの旅行サイト等でも取扱いはじめました。今までのように駅やターミナルの窓口に出向くことなくお得なサービスをご活用頂けます。

名古屋～東京間のドリーム号ではゆったりと寛げる3列ワイドシート車両も運行しており、2020年からはスウェーデン製の最新鋭2階建てバス導入し御利用のお客さまには大変ご好評を頂いて

JR連合
ふれあいキャンペーン
グループ労組めぐり
～全国の仲間を
応援しよう～

います。

当単組では多くの組合員が乗務員として働いており、日頃はなかなか顔を合わす事がなく、コミュニケーションを深めるため各分会でのレク活動を盛んに行っています。コロナ禍の間は殆ど催行できませんでしたが、昨年の夏以降は屋形船を貸し切ったり、ユースのBBQを行うなど活発になってきています。

国内の運輸業は業績回復に向けてここからが正念場です。V字回復に向けてJR連合加盟単組でしっかりとタッグを組み、ONETEAMでこの苦境を乗り越えていきましょう。



ユースで企画・開催したBBQでコミュニケーションを深める